

組織評価の改善状況報告書

平成 28 年 2 月 26 日

評価会議議長 殿

大学教育センター長

組織評価に関する実施要項第10に基づき、組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり平成27年度の改善状況を報告します。

要改善事項
大学教育センターで所掌している共通教育と学部の専門教育との有機的連関の強化。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
平成27年度を目途にキャリア支援を担当している学生支援センター、全学入試センター、大学教育センター等を統合した「全学教育基盤機構」設置をめざしており、そこでは入学時点の学力から卒業後の職業生活に至る4年間の展望の下での学生の成長をフォローする体制を整備することとしている。この体制構築と並行して要改善事項にも対処していく予定である。
改善状況
<ul style="list-style-type: none">平成28年度より学生募集を開始する「地域創造学環」（主専攻50名及び副専攻）において、地域人材育成に向け、地域課題解決を核とする従来の教養科目／専門科目の区分を越えた学部横断型教育プログラムを展開することを決定し、これに対応する全学教育科目規程の改正を行った。平成27年度のCOC+の採択を受け、「地域創造学環」の学生募集開始と並行して、全学的にキャリアデザイン／地域志向科目の必修化を進め、あらゆる分野で「地域人材育成」の観点を導入することを決定した（必修化は平成30年度予定）。平成25年度より導入した共通科目／専門科目のいずれからも科目選択可能な「自由科目」枠を利用し、平成24年度以前の共通科目「英語」の上限科目数（2年間で6科目）を越えて履修した学生が全学で53名（平成25/26年度）となり、平成27年度後学期から開始した英語による個別分野科目2科目の履修者60名と併せて、グローバル人材育成に向けた全学的な教育体制確立の基礎を確立した。
達成年度（予定を含む）
平成27年度着手、平成30年度達成

要改善事項
非常勤講師、TA等専任教員以外の人材の研修内容の向上及びより効果的な活用。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
平成26年度を目途に、特に非常勤依存率の高い外国語の授業について、各科目部を中心に本学の教育方針の徹底や教育能力の改善、成績評価基準の統一性の確保等の方策をより強化する。またTAについてはその研修内容については高い評価を得たが、同じく平成26年度にフィールドワーク、学修支援等への業務の拡大をはかっていく予定である。
改善状況
<ul style="list-style-type: none"> ・英語科目部専任教員の間では授業改善と評価基準の統一を目指したFD活動を行ったが、対面式の非常勤講師の研修は実施できなかった。理由としては、経費の問題が挙げられる。平成28年度以降、非常勤講師に対する対面式のFD活動についても継続的に検討していくが、非常勤控室に授業改善に関わる書籍を配置したり、授業改善に関わる研修会の情報を掲示することも広いFD活動として実施を検討する。また、英語科目部を中心として、教育能力の改善、成績評価基準の統一性を担保する方法について検討する。 ・非常勤講師・謝金講師をオムニバスで活用している学際科目では、授業のコーディネーターにあたる担当教員向けの成績評価基準についてのミニシンポジウムを実施した。ミニシンポジウムの開催にあたり共通科目群の成績評価基準について情報収集を行い、各科目群の評価基準の現状を把握した。このミニシンポジウムの成果を踏まえ、コーディネーター教員が成績評価等の統一性を把握することで、担当講師に対してそれぞれ情報を共有を行う方向性を確認した。 ・学内TA研修については研修用ガイドブック「TAガイドブック」を、継続的にWeb上で配信するとともに、その活用について各学部・研究科の教員への周知活動を行った。TA研修会の全学の統一実施は、経費の問題から難しい状況であり、平成28年度以降、Web研修会等を活用した全学統一の実施方法について検討する。また、学内TAを活用した学習支援を、図書館にて実施した。そのTA研修として、TAを一同に集め意見交換、情報交換を行う機会を設けた。フィールドワークにおけるTAについては、地域創造学環が平成28年度開設であり、この学環でのTAの導入のなかで検討する。
達成年度（予定を含む）
27年度着手，30年度達成

要改善事項
FDや教養教育への関与についての、学部間、個人間の「温度差」の解消
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
平成27年度に予定している「全学教育基盤機構」の設置にあわせて、狭い意味での授業改善にとどまらない、組織的な教育改善の取組としてのFDの強化をはかる。特に全学レベルのFDに加えて、学部レベルのFDの充実をめざす。
改善状況

平成27年度に学部レベルのFD活動を推進することをミッションとした各学部教員がその任にあたるFDファシリテーターの制度設計を行い、各学部でのFDファシリテーターを配置することを決定した。平成28年度以降、FDファシリテーターへの研修会を大学教育センターが主導して行い、学部FD活動の充実を図る。

達成年度（予定を含む）

平成27年度着手，平成30年度達成予定